

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 2月号

令和6年1月31日(水)

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

【いく・にげる・さる】

1月が終わり、2月に入ります。
1月9日(火)の後期後半が始まる全校集会で子どもたちに話しましたが、『**1月はいく・2月はにげる・3月はさる**』と言います。これは年明けの3か月はあつという間に過ぎてしまうから、1日1日を大事に過ごしましょう!という意味があります。

1月1日の元旦に起きた能登半島地震では、当たり前にあるもの、当たり前にいる人が一瞬にしてなくなってしまったこと、学校もいまだに再開が出来ていないことなど、依然として復旧が進んでいません。だからこそ、当たり前なことに改めて感謝しながら過ごして欲しいと思います。

さて、夏休み前に5年生が実施した「令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の本校の結果を分析いたしましたので、概要をご報告させていただきます。(5年生保護者の皆様には、結果をお知らせしております。)

1. 実技に関する調査

「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8種目で実施しました。

8種目中、男子は6種目・女子は4

種目が全国・県平均値を上回っており、男女とも総合評価C(平均的な数値)も、全国・県平均値を大きく上回っていることから、学年全体として平均して運動能力が高いと言えます。

2. 質問に関する調査

運動習慣、生活習慣に関する質問に対して、多くの児童が肯定的に回答しています。このことから、男女とも体育に対する意識は高いと言えます。今後は、授業において、男女がともに目標に向かい、助け合う、教え合うという活動をさらに増やし、運動が得意な子もそうでない子も意欲的に取り組めるような授業づくりを目指します。



令和5年3月をもって解散した「緑が浜小学校同窓会(みどりっ子会)」より、学校に何か役立つものを!とランチルームで使用する「超大型モニター」と、子どもたちが時を見つめられる「からくり時計」をご寄贈いただきました。ありがとうございます!!